

## 北進地区情報通信環境整備計画策定支援業務

### 公募型プロポーザル企画提案書等評価要項

#### 1 趣旨

この要項は、幌延町（以下「町」という。）が発注する北進地区情報通信環境整備計画策定支援業務（以下「業務」という。）に係る公募型プロポーザルの実施にあたり、事業者から提出される応募書類（企画提案書等）の評価項目、配点基準及び評価方法等について、公募の透明性及び公平性を確保するため、一般に公表するものである。

#### 2 評価の方法

町が設置する「北進地区情報通信環境整備計画策定支援業務プロポーザル選定委員会」（以下「選定委員会」という。）の各委員が、提出された書類、並びにプレゼンテーション及びヒアリングの内容を総合的に審査し、次項に定める評価基準表に基づき採点を行う。

#### 3 評価項目及び配点基準（200点満点）

本プロポーザルにおいては価格による点数化は行わず、事業限度額（見積限度額）以内であることを条件とした上で、以下の技術提案及び実施体制等（計200点満点）の優劣のみを審査対象とする。

| 評価<br>大項目              | 評価中項目          | 配点 | 評価の着眼点                                                                                 |
|------------------------|----------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 【A】<br>意欲・実績<br>（40点）  | （1）業務の理解度・意欲   | 10 | 業務の趣旨や北進地区（町営牧場等）の地域特性、スマート畜産・通信整備の必要性を正しく理解し、熱意あるアプローチが示されているか。                       |
|                        | （2）同種・類似業務の実績  | 30 | 過去5年以内に自治体等でスマート農業、低軌道衛星通信（Starlink等）、各種無線（LPWA等）のインフラ調査や計画策定を元請けとして受託し、誠実に履行した実績があるか。 |
| 【B】<br>業務実施体制<br>（40点） | （1）配置予定技術者の専門性 | 25 | 管理技術者等の保有資格（技術士、情報処理技術者等）や、放牧牛管理、無線・ネットワーク設計に関する実務経験・専門知識が十分であるか。                      |
|                        | （2）実施体制・工程の妥当性 | 15 | 本業務を令和9年3月31日までに確実に完了させるための人員配置、バックアップ体制、及び作業スケジュール（工程管理）が適切か。                         |

|                              |                   |     |                                                                                                             |
|------------------------------|-------------------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【C】<br>技術提案・<br>企画<br>(120点) | (1)通信環境<br>の調査手法  | 35  | 不感エリアの特定、低軌道衛星通信（Starlink等）のインターネット接続環境、及び各種無線（Wi-Fi、Wi-Fi HaLow、LoRaWAN等）の牧場内電波シミュレーション・調査・接続試験の手法が緻密で妥当か。 |
|                              | (2)放牧牛管理遠隔システムの提案 | 35  | 放牧牛の位置情報を活用した遠隔監視・管理等に伴う従業員の負担軽減に向けた技術仕様やデバイスの選定・検証プランが優れているか。                                              |
|                              | (3)施設監視・電源確保の提案   | 25  | 監視カメラによる取水堰周辺の状況確認、及びソーラーパネル・蓄電池を活用した自立型電源確保の検証手法が具現性・確実性を持っているか。                                           |
|                              | (4)次年度以降の計画策定力    | 25  | 1年目の実証結果を適切に総括し、2年目の実フィールド試行調査、3年目の本格整備へと繋ぐロードマップ（施設整備計画）の策定方針が明確か。                                         |
| 総合計                          | (満点)              | 200 | 【最低基準点】<br>提案事業者が1社のみであるか複数であるかを問わず、各選定委員の採点結果の平均値が120点（満点の60%）未満の場合は、受託候補者として特定（選定）しない。                    |